

毎月開催中の勉強会の様子や次回の勉強会についてご紹介

WEB-BOX 勉強会!



5月の勉強会では、メールの設定方法、迷惑メール対策について行いました。弊社でホームページもしくはサーバを契約していただいている場合、50個までメールアドレスを取得することができます。メールの設定や追加を弊社に依頼される方も多いのですが、実はWEB上でメールを追加することができます。最近ではyahooメールやgmailなどの無料のメールサービスも充実していますが、独自ドメインのメールアドレスを取得していると、企業のブランディングや顧客からの信頼につながります。

またメール関係でよくご相談いただくのが、迷惑メールについてです。最近ではなりすましメールやウイルスメールが増えており、手口も巧妙です。うっかり添付ファイルを開いてしまうと、情報が盗まれてしまいます。勉強会に参加できなかった方には資料をお送りいたしますので、気になる方は、営業担当にご連絡ください。



vol.13 最近のWEB-BOX 勉強会

システムグラフィでは毎月WEB-BOX勉強会を開催しています。以前は来社していただいて対面での勉強会を行っていましたが、現在はWEB上でやっているため、日中参加できない方や県外の方でも気軽に参加できるようになりました。

勉強会ではご契約いただいているWEB-BOXの使い方やホームページやネットショップの集客のために何ができるか（SEO対策やアクセス解析）、その他WEBで役立つ情報を発信しています。基本的に30分から1時間ほどで終了するので、少し時間が空いた時に気軽に参加ができます。

毎月、第3木曜日の14時30分から開催しております、その1週間ほど前に、メルマガで勉強会の告知を行っております。そこに記載されているフォームより申し込みが可能です。

今回は直近2回で行った勉強会の紹介を行います。



6月のWEB-BOX勉強会では管理画面の使い方について説明しました。ホームページの更新をしばらくやっていないと、使い方を案外忘れてしまうものです。今回はそういった方やホームページを作ってから間もない方に、ご参加いただきました。

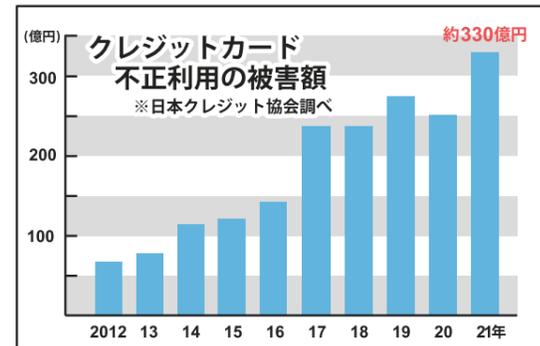
WEB-BOXは文字の追加や画像の追加だけでなく、リンクの設定や表組の作成ができ、自由度が高いのが特徴です。ホームページは更新することがとても大切で、検索順位を上げるSEO対策においても重要な指標になっています。新着情報やブログの更新がストップしてしまっている方は、これを機会にぜひ更新してみてください。

ホームページの内容を充実させることで、ユーザーのサイト滞在時間が長くなり、お問い合わせや受注につながっていきます。最初は大変ですが、まずは触って慣れてください。

ウェブ業界のホットな話題をいち早くお届け!

ウェブNEWS!

vol.13 クレジットカードの不正利用とチャージバックについて



【近年、クレジットカードの不正利用が増えてます!】

日本クレジット協会によると、2021年のクレジットカード不正利用被害額は**330億円**でした。

これはコロナ禍によってEC事業者が増えたことによって、そこを狙った不正利用者が増加したことが影響しています。

これにより、EC事業者にはどのような影響があるのかを下記でご説明します。

【チャージバックについて】

個人の場合、万が一クレジットカードが不正利用されても、カード会社では「チャージバック」という仕組みが設定されています。この仕組みは、消費者にとってはありがたいのですが、EC事業者にとっては不利益を被る可能性のある仕組みです。

■チャージバックとは

チャージバックとは、消費者（カードの持ち主）が同意しない支払いから消費者を守る仕組みです。消費者からカード会社にチャージバック申請をすると不正利用された売上が取り消されます。

■取り消された売上は?

- ・カード利用者の本人確認がされている場合はカード会社
- ・本人確認がされていない場合はEC事業者、加盟店

EC・通販などでは本人確認をしないことが多いため、チャージバックの被害はEC事業者が被害を受ける事が多いです。

■チャージバック後

消費者：カード会社に請求されない
カード会社：EC事業者に入金しない

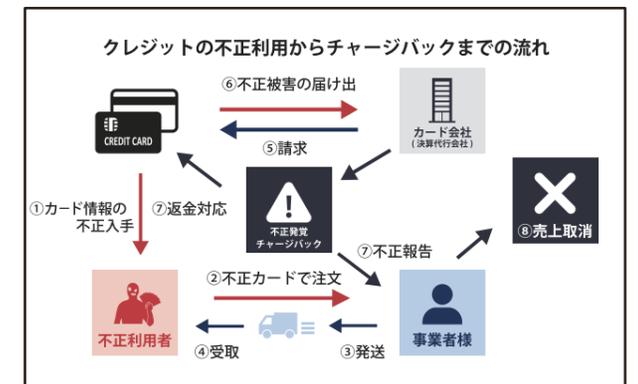
EC事業者：商品が不正利用者に発送したが、カード会社から入金なし
このようにチャージバックはEC事業者にとっては泣き寝入りするしかない場合も少なくありません。

チャージバックは消費者を不正利用被害や悪質な取引から守る制度ですが、EC事業者にとっては損失を被る制度です。チャージバックが発生しても、多くの場合クレジットカード会社からの補償や補填は一切ないため、EC事業者が独自に対策をする必要があります。

【ECサイト事業者がクレジットカードの不正利用を防ぐためにできる対策】

- ・本人認証サービス (3Dセキュア)
→カード会員のみが知るパスワード等（静的・動的）やその他の情報（デバイス情報等）を用いて本人認証を行う仕組み
- ・券面認証（セキュリティコード認証）
→カード券面の「セキュリティコード（数字3～4桁）」を入力し、カードが真正であることを確認する仕組み
- ・チャージバック専用の保険
→定期的に一定額の保険料を支払うことで、チャージバックが発生しても一定額までは補償される仕組み

◇運営してるECサイトが被害を受けないように、事前にしっかり対策をしましょう。



ウェブのプロがお答えします！

SEO対策!

vol.6 画像の alt 属性の役割

皆さま、画像の代替テキスト (alt属性) の設定はご存じでしょうか？

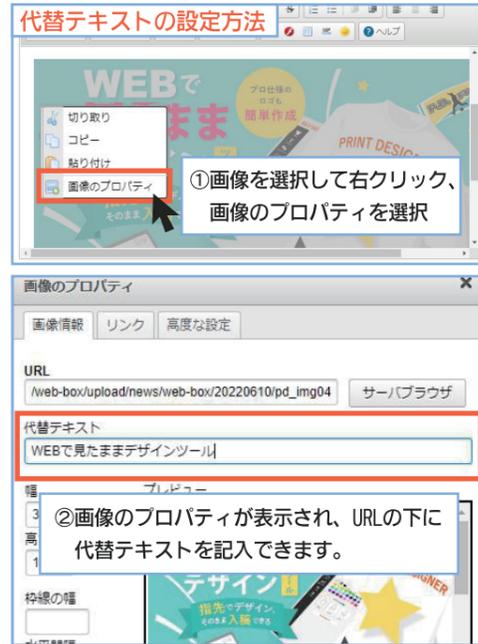
代替テキストの役割は、画像の代替となるテキスト情報であり、画像が表示されない場合に表示するテキスト、スクリーンリーダー (画面読み上げソフト) や音声ブラウザでの読み上げのときの画像の代わり、検索エンジンに画像内容を伝えたりするなど重要な役割を果たしています。

現状、検索エンジンはサイトに表示されている画像の内容を把握することができません。その為「何の画像なのか」、「何をしている画像なのか」といった情報を検索エンジンに伝えるために、画像へ代替テキストを設定を行います。そうすることで、検索エンジンが正確に内容を把握でき、Webサイトの評価が上がりSEO対策に良い効果をもたらすことが出来るのです。

代替テキストは、急激にWEBサイトの順位を上昇させるようなSEO対策ではありませんが、検索エンジンに対して分かりやすいWEBサイトにする為には重要な対策になります。

ただし、画像の内容とテキストが一致していなかったり、キーワードを必要以上に詰め込むことはよくありません。過度なキーワードの詰め込みは、Googleのガイドライン違反に当たり、スパムとみなされる可能性があります、気を付けて設定をしましょう。

右側に、WEB-BOX管理画面のブログの記事登録・編集からの代替テキストの設定方法を載せてあります、画像への代替テキストの設定がまだの方は、是非設定を行ってみてください。



制作秘話や運営について聞いてみました!

お客さま紹介!



- vol.13 ワカサ観光様 (<https://www.wakasa-kankoh.co.jp/>)
- 白女林様 (<https://www.hakurakuso.com/>)
- 白山ワイナリー様 (<https://www.yamabudou.co.jp/>)

今回のお客さま紹介は、ちょっと遠方のお客さま BEST3 をご紹介いたします。システムグラフィの福井県全域にわたるカバー力の紹介 (自慢) にもなってしまいますが・・・弊社を選んで頂きありがとうございます。「遠いから来てもらうのはちょっと抵抗が・・・」と思ってしまう方もいるかもしれませんが、県外まで足を伸ばしていますので、お気軽にご連絡くださいませ。

青いピンがシステムグラフィ
赤いピンがちょっと遠方のお客さまです

左：嶺南のお客様のなかでも一番遠いのがワカサ観光様です。テンプレートとオリジナルデザインを織り交ぜながらサイト制作をいたしました。

中：福井県のとっぺん、三国にあるのは白女林様です。コーポレートサイトにプラスし、求人 (採用) 専用ページの作成もさせて頂きました。

右：そして奥越は、山ぶどうでワインを作られている白山ワイナリー様です。カートシステムも導入し、福井産のワインをお届けしています。

なかなかご訪問がしづらい状況ではありますが、福井県内どこへでも駆け付けますのでいつでもご相談ください。



大切なサーバやセキュリティに関する情報を発信中!

ホスティング情報!

vol.13 Gmailへの転送について

会社のメールを Gmail へ転送設定しているが、Gmail で迷惑メールになってしまう最近上記の様な問い合わせがを何度かお客様から頂きました。



要は、会社のメールアドレスには届くけど、転送先のGmailのアドレスには届かない、ってことです。なぜ、Gmailに迷惑メール判定される(または届かなくなる)のでしょうか？

- ①送信ドメイン認証 SPF レコードが設定されていると送信元の IP に不一致がおり、受信側の Gmail で送信元詐称と認識されます
- ②スパム送信サーバとみなされる スパムも Gmail に転送される為、送信元の IP がスパムサーバとしてみなされた可能性があります

上記2点が主な理由になりますが、改善を目的としてネット上の情報を元に以下の Gmail のフィルタ設定を試してみました。

1. 「設定」→「すべての設定を表示」→「フィルタとブロック中のアドレス」→「新しいフィルタを作成」
2. To に、「転送元メールアドレス」を入力して「フィルタを作成」選択 ※転送元の会社メールアドレスです
3. 迷惑メールにしない、にチェックして「フィルタを作成」選択

10 通ほど明らかなスパムメールの内容を送ってもスパムとして判定はされませんでした。同じような事象が見られる場合、試してみてくださいと思います。

ただし、Gmail への不達関連の問題は、様々な原因で発生しますのでいくつかあるうちの対処法の一つとして捉えて頂ければと思います。転送がいいのか? Gmail 側から POP 受信した方がいいのか? Gmail をどのように扱うか、運用方法も併せてご考慮ください。

定番から裏技まで、すぐに使える活用法を分かりやすく解説!

WEB-BOX 活用法!

vol.13 フォームのファイル添付機能と運用方法のコツ

お問い合わせページから、お客様に画像やデータなど添付していただきたいときに活用する「ファイル添付」。今回は添付されたデータが WEB-BOX の管理画面のどこに保存されているのか、また画像やデータ増えてきた際の運用方法のコツについてご説明いたします。



■ 添付されたデータの保存先や保存されるファイル名のルール

お問い合わせページから添付されたデータは、ファイルキャビネットの「form」というフォルダに保存される仕組みになっています。また、「form」フォルダ内に入るデータが、どのようなファイル名になるかをご存知でしょうか? 例えば、漢字やカタカナのファイル名を添付した場合、下記のファイル名になります。

添付時のファイル名 「サンプル画像.jpg」 → 保存後のファイル名 「220620151541_0.jpg」

漢字やひらがな、カタカナといった全角文字は半角英数記号に変換されます。

・全角文字を含むファイル名は「年月日時分秒_連番」というファイル名に変換され保存されます。

・半角英数記号のみのファイル名の場合はそのままのファイル名で保存されます。

お客様のデータを確認する際は、上記の内容を参考にファイル名をご確認ください。

■ データの管理方法

長い期間サイトを運営していると、「form」のフォルダ内にデータがたくさん保存されている状態になり、管理が難しくなります。その際の運用方法のコツは、

- ① 「form」のフォルダの中に「対応済フォルダ」など作成し、データを格納する。
 - ② 対応済になったデータはダウンロードしてから保管し、ファイルキャビネットから削除する。
- そうすることで、「どのデータが対応済か」が分かりやすくなり管理がしやすくなります。